

■家族間での連絡方法

災害発生時は、家族や親族の安否確認が一番気になると思います。電話がつながりにくい場合の連絡方法に次のようなものがあります。

NTT災害時伝言ダイヤル171

地震など災害発生時は、電話がつながりにくい状況が数日間続きます。災害用伝言ダイヤル（171）は、災害時限定で音声情報を録音・再生できるサービスです。

※1回に録音できるのは30秒まで

※伝言の保存期間は48時間

伝言録音方法



伝言再生方法



災害用伝言版

災害時に携帯電話会社の公式メニューや専用アプリからアクセスし、伝言を登録することで、家族に安否情報を知らせることができます。震度6弱以上の地震発生時に使用できます。

※震度5強以下やその他の災害時は、電話の通信状況によります。

災害時の連絡方法だけでなく、避難する場所について、家族間で話し合っておくことも大切です。

家族間で事前に決めておいた避難場所に、互いを信じて避難することができる「避難カード」を防災対策課で配布していますので、ぜひご利用ください。

災害用伝言板（携帯電話）

携帯電話の公式メニューや専用アプリから「災害用伝言板」にアクセス

伝言を登録

伝言を確認

「登録」を選択

「確認」を選択

100文字以内のコメントを入力して登録

確認したい人の携帯番号を入力して検索

■災害時の情報の重要性

情報は、意思決定や行動の選択に重大な影響を及ぼします。災害時、速やかに正確な情報を収集できるかどうかで、生死を分けることもあります。また、家族の安否や避難生活に関する情報も、生活を再建していくうえでなくてはならない情報です。

災害発生時に情報が役に立った事例を紹介します。



台風による大雨で、自治体から警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたらラジオで聞いて、高台にある親戚の家に避難した。その後、近くの河川が氾濫した。



地震発生後、自宅に被害はなかったが、防災無線から津波に注意する放送が聞こえたので高台に避難した。直後に津波がやってきて自宅が流された。



スマートフォンから緊急地震速報が流れ、とっさに机の下に隠れた。直後に照明器具が落ちてきた。



外出中に被災し、家族の安否を心配したが、事前に避難場所を共有していたのですぐに再会できた。